

平成30年度

要 覧



栃木県総合教育センター

栃木県総合教育センター所歌「学びの杜」

作詞 所歌作成委員会
作曲 星 尚志

一 桜舞う朝の光に輝いて

今日も行く

研修のエントランスに笑顔あふれて

学びの杜は明日への力

みんなを包む存在(ひと)でありたい

二 万緑の中のあつさに光る汗

今日も行く

世代越え手を取り合って地域とともに

学びの杜は明日への出会い

豊かな心 備えていたい

三 紅葉燃え深まる人の触れ合いに

今日も行く

未来への確かな学び深め広げて

学びの杜は明日への標へ

想いを込めて言葉を紡ぐ

四 見晴るかす富士の高嶺に凜として

今日も行く

一人ではできないことも成し遂げて

学びの杜は明日への希望

とちぎの学び カ尽くして

「育てます」「支えます」「広げます」

とちぎの希望(ゆめ)に想いを馳せて

それが私たちの力の源



管理研修棟全景



大講義室



グラウンドと体育館

目 次

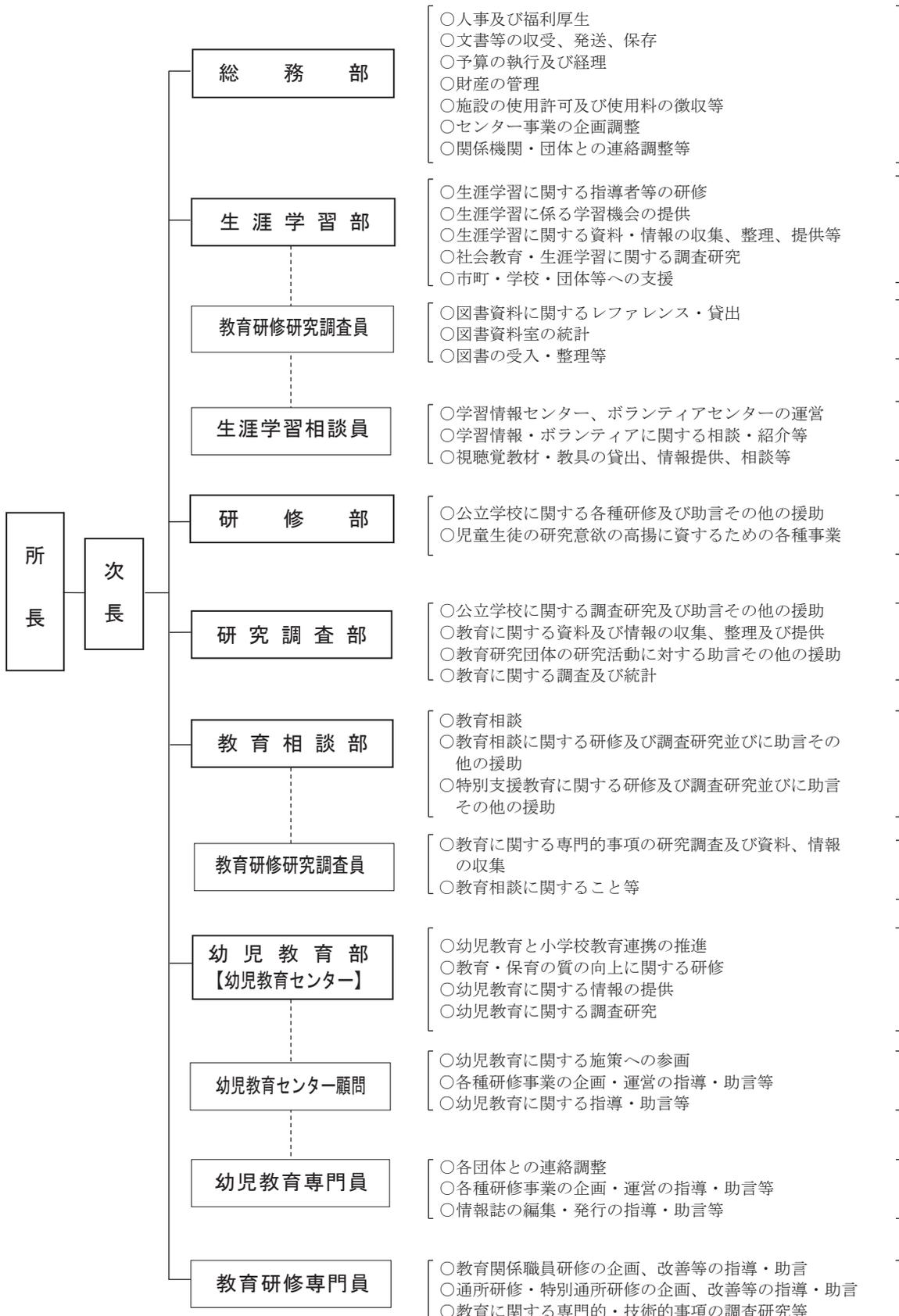
1 沿 革	1	(5) 教育相談事業	12
2 組織及び部の主要業務	2	(6) 幼児教育推進事業	13
3 事 業	3	(7) 資料・情報の収集提供事業	14
(1) 研修事業	3	(8) 研究・学習活動支援事業	15
(2) 学習機会提供	9	(9) 教育充実振興事業	16
(3) 学習相談・情報提供	10	4 職員等一覧	17
(4) 調査研究事業	11	5 配置図	18

1 沿 革

昭和37年 4月	栃木県理科教育センター開設
昭和46年 1月	栃木県教育研修センター開設
昭和63年12月	総合教育センター整備基本構想策定 教職員研修と生涯学習推進機能を併せもつ施設として、宇都宮市瓦谷町地内（中央 青年の家跡地及び農業試験場農場）に計画
平成 2年11月	総合教育センター建設工事着工
平成 4年 6月	「栃木県総合教育センター条例」制定
平成 4年 7月	建設工事竣工
平成 4年 9月	「栃木県総合教育センター管理規則」制定 1課4部制 管理課、生涯学習部、義務教育部、高校教育部、特殊教育・相談部
平成 4年10月	栃木県総合教育センター開所
平成 9年 4月	栃木県生涯学習ボランティアセンター設置
平成11年 4月	特殊教育・相談部を障害児教育・相談部に名称変更
平成13年 4月	義務教育部、高校教育部を研修部、研究調査部に組織改編 障害児教育・相談部を教育相談部に名称変更
平成14年 4月	幼児教育部「幼児教育センター」設置6部制となる
平成15年10月	カリキュラムセンター設置
平成24年10月	栃木県総合教育センター設立20周年記念式典
平成25年 4月	管理部を総務部に改編し、企画調整担当を設置
平成29年11月	所歌及びマスコットキャラクター「アンとシン」制定

2 組織及び部の主要業務

平成 30 年 4 月 1 日現在



3 事 業

(1) 研修事業

ア 教育関係職員研修の充実

「栃木県公立学校教員研修要綱」に基づき、教員研修を推進するとともに、小・中学校事務職員、学校栄養職員の研修の充実を図る。

基本研修

番号	研 修 講 座 名	対 象	日数
1	初任者研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任教員	16
2	初任者研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教員	16
3	新規採用養護教諭研修	新規採用養護教諭	14
4	新規採用学校栄養職員研修	新規採用学校栄養職員	10
5	新規採用事務職員研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新規採用事務職員	7
6	教職2年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の教職2年目に該当する教員	2
7	教職2年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職2年目に該当する教員	2
8	養護教諭2年目研修	2年目に該当する養護教諭	2
9	学校栄養職員2年目研修	2年目に該当する学校栄養職員	2
10	教職2～5年目研修（小・中）〔5年目〕	小学校、中学校、義務教育学校の教職5年目に該当する教員	3
11	教職2～5年目研修（高・特）〔5年目〕	高等学校、特別支援学校の教職5年目に該当する教員	3
12	養護教諭2～5年目研修〔5年目〕	5年目に該当する養護教諭	3
13	学校栄養職員2～5年目研修〔5年目〕	5年目に該当する学校栄養職員	3
14	事務職員5年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の5年目に該当する事務職員	3
15	中堅教諭等資質向上研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の教職10年目に該当する教員	7
16	中堅教諭等資質向上研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職10年目に該当する教員	7
17	中堅養護教諭資質向上研修	10年目に該当する養護教諭	6
18	中堅学校栄養職員資質向上研修	10、11年目に該当する学校栄養職員	6
19	教職20年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校の教職20年目に該当する教員（養護教諭を含む）	4
20	教職20年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校の教職20年目に該当する教員（養護教諭を含む）	4

専門研修 1 ア

番号	研修講座名	対象	日数
1	新任免許外教科担任研修（中）	免許状を有していない教科を担当する教諭のうち、当該教科を初めて担任する者	2
2	産業教育基礎技術研修	高等学校農・工・商・家担当の教職3年目に該当する教員	各2
3	理科・基礎実験研修（高）	高等学校理科担当の教職3年目に該当する教員	3
4	英語授業力向上研修	小学校の教員（外国語教育担当教員を含む）及び、中学校、義務教育学校、高等学校の英語科担当教員、特別支援学校の小学部外国語教育担当教員	3
5	ネクストステージ研修	学校における教育活動推進の中心的立場にある教職員	5
6	支援体制充実研修	児童指導主任・生徒指導主事。本研修は、全校種（小・中・義・高・特）を対象として平成28年度から3年間で実施する。年度毎に学校を割振り、各学校1人に対して実施する。	2
7	教育相談充実研修（高）	今後各学校で教育相談活動の中心となることが求められる教諭または養護教諭。各校各課程ごとに1人に対して実施する。ただし、これまでに、教育相談指導者養成研修（高）、平成28年度及び平成29年度教育相談充実研修（高）を修了した者を除く。	2
8	特別支援学級新任教員研修	初めて特別支援学級を担当する教諭、助教諭及び講師。ただし、本年度初任者研修を受講している者及び平成29年度までに特別支援学級等新任教員研修を受講している者を除く。	3
9	通級による指導新任教員研修	初めて通級による指導を担当する教諭、助教諭及び講師。ただし、本年度初任者研修を受講している者及び平成29年度までに特別支援学級等新任教員研修を受講している者を除く。	3
10	特別支援学級等実践研修	特別支援学級・通級による指導を担当して本年度3年目の教諭、助教諭及び講師。	3
11	特別支援学校新任教員研修	初めて特別支援学校に着任した教諭及び講師。ただし、本年度初任者研修を受講している者を除く。 初めて特別支援学校に着任した養護教諭及び養護助教諭で受講を希望する者。	1×2
12	職業教育指導力向上研修	特別支援学校高等部において職業教育を推進する教員	3
13	自立活動充実研修	特別支援学校において自立活動の時間における指導を担当している小学部の教員。ただし、平成29年度までに自立活動指導者研修を受講した者を除く。	2
14	早期教育相談担当者研修	特別支援学校において早期教育相談の職務を中心的に担う教員。ただし、平成29年度までに本研修を受講した者を除く。	3
15	合同研修〔幼小〕	小学校、義務教育学校：第1学年担任、生活科主任等 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園：年長担当等	1
16	幼小連携推進者養成研修	幼小連携の中心的立場にある小学校、義務教育学校教諭（幼小連携担当者、生活科主任等）、幼稚園教諭、保育所保育士、幼保連携型認定こども園保育教諭	5

専門研修 1 イ

番号	研修講座名	対象	日数
1	校長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校校長	1
2	校長研修（高・特）	高等学校長、特別支援学校長	1
3	新任校長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任校長	2

番号	研修講座名	対 象	日数
4	新任校長研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任校長	2
5	教頭2年目研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校2年目教頭	3
6	教頭2年目研修（高・特）	高等学校、特別支援学校2年目教頭	3
7	新任教頭研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任教頭	4
8	新任教頭研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教頭	4
9	新任主幹教諭研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任主幹教諭	2
10	新任主幹教諭研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任主幹教諭	2
11	新任部主事研修（特）	特別支援学校新任部主事	2
12	新任教務主任研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任教務主任	2
13	新任教務主任研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任教務主任	2
14	新任学習指導主任研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任学習指導主任	1
15	新任学習指導主任研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任学習指導主任	1
16	新任児童指導主任研修（小）	小学校、義務教育学校新任児童指導主任	1
17	新任生徒指導主事研修（中）	中学校、義務教育学校新任生徒指導主事	1
18	新任生徒指導主事研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任生徒指導主事	1
19	新任進路指導主事研修（中）	中学校、義務教育学校新任進路指導主事	1
20	新任進路指導主事研修（高・特）	高等学校、特別支援学校新任進路指導主事	1
21	新任栄養教諭研修	新任栄養教諭	5
22	新任道徳教育推進教師等研修	小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校新任道徳教育推進教師等	1
23	新任地域連携教員研修	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校新任地域連携教員	2
24	人権教育指導者専門研修	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校人権教育主任等	6
25	新任補佐級事務長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任補佐級事務長	1
26	新任係長級事務長研修（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校新任係長級事務長	2
27	新任係長級学校栄養職員研修	新任主査に該当する学校栄養職員	2

専門研修2

番号	研修講座名	対 象	日数
1	学校図書館研修	学校図書館にかかわる教職員	1
2	教科等専門研修	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	1×24

番号	研修講座名	対象	日数
3	小学校理科観察実験研修〔初級〕	小学校、義務教育学校、特別支援学校小学部の教員	1
4	小学校理科観察実験研修〔中級〕	小学校、義務教育学校、特別支援学校小学部の教員	1
5	産業教育専門研修〔農・工・商・家〕	高等学校、特別支援学校の農・工・商・家担当教員	各2
6	環境学習プログラム研修	幼稚園・保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	2
7	実習助手研修	高等学校、特別支援学校の実習助手（新規採用者以外は第3日より受講）	2 (4)
8	ICT活用研修（エクセルの活用）	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
9	ICT活用研修（タブレット端末の利用）	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
10	校内研修ステップアップ講座〔学力向上に向けた授業研究〕（小・中）	小学校、中学校、義務教育学校で校内研修にかかわる教職員	1
11	校内研修ステップアップ講座〔主体的・対話的で深い学びの実践に向けた授業改善〕（高・特）	高等学校、特別支援学校で校内研修にかかわる教職員	1
12	教育相談基礎研修	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	4
13	教育相談課題研修〔いじめの理解と対応〕	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
14	教育相談課題研修〔不登校の理解と対応〕	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	2
15	教育相談実践研修〔保護者との連携〕	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
16	知的障害教育研修	小・中学校、義務教育学校の教員、特別支援学校の教職員	1
17	自立活動研修	小・中学校、義務教育学校の教員、特別支援学校の教職員	1
18	発達障害のある子どもの教育支援研修	小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	1
19	トップセミナー	幼稚園長、保育所施設長、幼保連携型認定こども園長、小学校長、義務教育学校長、特別支援学校長等	1
20	幼児期の特別支援教育研修	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	2
21	スキルアップセミナーⅠ 〔幼児理解に基づく評価〕	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	1
22	スキルアップセミナーⅡ 〔要録の作成と活用〕	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	1
23	スタートカリキュラム講座	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校教職員等	1

専門研修3

番号	研修講座名	内容
1	とちぎの教育未来塾	教職経験5年以内の若い教員や臨採教員と、栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、ともに学ぶことを通じて、資質能力の向上を図るため、実践的な講義とグループ協議を中心に、土曜日に開催する。
2	教職員サマーセミナー	宇都宮大学との連携により、夏季休業中に講座を開設し、今日的な教育課題についての見識を深めたり、教職員として必要な教養を身に付けたりすることにより、資質の向上を図る。
3	環境学習プログラム体験セミナー	教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等における環境教育・環境学習の在り方についての理解を深め、指導力の向上を図る。
4	教科自主研修（高・特）	総合教育センターの施設・設備等の機能を生かして、教科指導に関する自己の課題解決能力の向上を図る。

イ 生涯学習関係研修の充実

県民の学習活動の充実と活性化を図るため、生涯学習の推進にあたる関係職員及び地域活動、ボランティア活動にかかわる団体や個人の資質の向上を目指す。

◇ 生涯学習指導者研修 ◇

番号	研修名	事業のねらい	事業概要	対象	日数	定員
1	女性の地域活動推進セミナー（女性教育指導者研修）	地域活性化のための団体活動の在り方について学び、社会参画に必要なスキルの向上を図るとともに、指導者としての資質の向上を目指す。	・地域づくりとボランティア活動 ・施設見学 ・グループ研究 ・リーダーに求められるコミュニケーションスキル 等	[推・公募] 県民	8	30
2	家庭教育オピニオンリーダー研修	家庭教育について自主的な学習、情報や学習機会の提供、相談活動等を積極的に行い、地域に根ざした家庭教育支援ができるリーダーの養成を目指す。	・家庭教育支援の現状と課題 ・子どもたちを取り巻く現代の課題 ・カウンセリングマインドを生かした相談のあり方 ・フィールドワーク 等	[推・公募] 県民	7	50
3	家庭教育支援プログラム指導者研修	家庭の教育力の向上を図るために、親同士が交流しながら子育てに必要な知識やスキル等を学ぶ「家庭教育支援プログラム」を活用できる指導者を養成する。	・親学習プログラム体験 ・ファシリテーション基礎 ・ファシリテーション演習 等	県民	5	80
4	ウィークエンド青少年セミナー	青少年が地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるよう、演習を中心とした主体的な活動をおとして学び、青少年リーダーとしての実践力を養う。	・地域活動の事例発表 ・レクリエーション・工作遊び体験 ・ボランティア活動事業の企画、立案、準備、実践 等	青少年 大学生 高校生	5	30
5	放課後活動指導者研修	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりの推進ため、主に放課後活動にかかわる指導者の資質向上を図る。	・放課後活動の指導者に求められるもの ・子どもの遊びの理解と支援 ・もしものときに落ち着いて～子どもを守る危機管理～ 等	社 県民	5	150
6	学校と地域の連携推進セミナー	学校と地域の連携に携わる関係者の資質・能力の向上とネットワークの構築を図り、学校と地域の連携を推進していくためのコーディネート機能の充実を図る。	・学校を核とした地域づくりのために ・学校と地域の連携の実際 等	社 教 県民	3	80
7	地域教育コーディネーター養成セミナー	地域教育コーディネーターの果たす役割の重要性について学び、地域課題の解決に向けた取組等の充実と住民同士の交流や協働を促すための基礎を培うことを目指す。	・地域教育コーディネーターに期待される役割 ・栃木県における地域教育コーディネーターの養成について 等	社 教 県民	1	200
8	地域課題解決型学習プログラム指導者養成研修	地域課題を解決するために開発した「地域元気プログラム～地域ので『子育て』を元気に！」を活用できる指導者を養成する。	・地域課題の実態について ・ファシリテーションの技術を学ぼう ・地域課題を通じた地域づくり 等	社 県民	5	80

◇ 県・市町職員等研修 ◇

9	生涯学習・社会教育担当職員研修Ⅰ	本県の生涯学習推進体制、生涯学習関係法令・各種答申など、生涯学習に必要な基礎的知識を提供する。	・本県の生涯学習推進計画 ・関係法令・答申・計画について ・学習プログラムの企画・立案 等	社	3	100
10	生涯学習・社会教育担当職員研修Ⅱ	生涯学習の振興や社会教育の推進に向けて、先進事例の紹介や演習をおとしてスキルアップを目指す。	・参加体験型学習の実際 ・これからの社会教育行政のあり方 等	社	3	100
11	人権教育指導者専門研修	人権教育を推進するため、指導者としての資質・能力の向上を目指す。	・栃木県の人権教育推進の在り方 ・現地研修・情報交換 ・人権に関するワークショップ ・学習プログラム作成 等	社 教	6	50

◇視聴覚教育指導者研修◇

12	16ミリ映写機技術指導者研修	視聴覚教材・機材の利用促進を図るため、16ミリ映写機技術者養成講習会の指導者を養成する。 16ミリ映写機技術修得証明書取得者の技術及び資質の向上を目指す。	・16ミリ講習会の企画・運営 ・16ミリ映写機操作指導のポイント 隔年実施（平成30年度は実施しない）	社視	—	—
----	----------------	--	---	----	---	---

◇新任地域連携教員研修◇

13	新任地域連携教員研修	地域連携教員としての職務、今日的な教育課題、地域連携の進め方等について理解を深め、地域連携教員としての資質の向上を図る。	・地域連携教員の活動の実際 ・地域連携教員としてのマネジメント ・演習 等	教	2	—
----	------------	--	---	---	---	---

※社：県・市町社会教育関係職員 県民：一般県民 教：教職員
視：視聴覚ライブラリー職員 【推】：要推薦

ウ 幼児教育関係研修の充実

幼稚園・保育所・認定こども園・小学校・義務教育学校の教職員を対象とした合同研修や相互理解のための幼小連携推進の研修をはじめとして、幼稚園教育要領や保育所保育指針等に基づく研修や今日的な課題に対応した研修を行い、幼児期における教育・保育の充実を目指す。

幼児教育関係研修等

(一部再掲)

番号	研修講座名	対象	日数
1	合同研修〔幼小〕	小学校、義務教育学校：第1学年担任、生活科主任等 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園：年長担当等	1
2	幼小連携推進者養成研修	幼小連携の中心的立場にある小学校、義務教育学校教諭(幼小連携担当者、生活科主任等)、幼稚園教諭、保育所保育士、幼保連携型認定こども園保育教諭	5
3	トップセミナー	幼稚園長、保育所施設長、幼保連携型認定こども園長、小学校長、義務教育学校長、特別支援学校校長等	1
4	幼児期の特別支援教育研修	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	2
5	スキルアップセミナーⅠ 〔幼児理解に基づく評価〕	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	1
6	スキルアップセミナーⅡ 〔要録の作成と活用〕	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校、特別支援学校教職員等	1
7	スタートカリキュラム講座	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、小学校、義務教育学校教職員等	1
8	教育課程研究集会〔幼児教育〕	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園教職員	3
9	新規採用幼稚園教諭等研修	新規採用幼稚園教諭等	4
10	幼稚園等教職5年目研修	幼稚園教職5年目の教諭等	3
11	中堅幼稚園教諭等資質向上研修	幼稚園教職11年目の教諭等	6
12	幼児教育特別講座Ⅰ	幼稚園長、保育所施設長、幼保連携型認定こども園長	1
13	幼児教育特別講座Ⅱ	幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園職員	1

(2) 学習機会提供

番号	事業名	目的・内容
1	とちぎ県民カレッジ	心豊かで活力ある生涯学習社会とちぎの形成をめざし、各種の講座を「とちぎ県民カレッジ」として体系的・総合的に提供し、県民の高まる学習意欲に応えとともに、学習成果を地域で生かせるよう支援する。 事務局の運営 1 登録講座の募集・認定・広報（県・市町・生涯学習関係機関・高等教育機関等） 2 学習活動奨励（学習歴累積希望者登録・奨励証の交付・地域活動奨励）
2	とちぎ子どもの未来創造大学	子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加え、学ぶ意欲を高め主体的に学習に取り組む態度を涵養するよう、大学、企業などから提供された講座を実施し、本物に触れる機会を社会教育で提供する。 ○ホームページの運営・管理（講座に関する情報提供と申込み受付フォームの作成） ○スタートアップ講座に関するポスター、リーフレット作成
3	公開講座 「ライブアップセミナー」の開催	総合教育センター研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供する。 平成30年5月～平成31年2月
4	センター開放事業 「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」の開催	総合教育センターの人的・物的資源を活用し、子どもたちをはじめとするさまざまな年代に向けて学びの機会を提供する。「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした「体験活動」の実施 実施期日 平成30年12月15日（土）
5	栃木県自作視聴覚教材コンクールの開催	視聴覚教育に関わる自作教材の制作を奨励し視聴覚教育の振興を図るため、自作視聴覚教材コンクールを開催する。 平成31年1月中旬応募締切、2月上旬審査、2月下旬表彰

(3) 学習相談・情報提供

ア 学習情報センター

番号	事業名	目的	内容
1	学習相談体制の充実	学習情報センターにおける学習相談を充実し、県民の学習活動を支援する。	1 県民のニーズにあった学習機会や指導者の紹介 2 面談・電話等による生涯学習相談 10:00～17:00 3 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の利用24時間受付
2	情報源の充実	学習相談に対応するための各種の情報源の整備充実を図る。	1 栃木県学習情報提供システム（とちぎレインボーネット）の運用及び活用 2 市町広報誌及び各種情報誌等の活用による情報の提供 3 関係機関等との連携

イ 生涯学習ボランティアセンター（体験活動ボランティア活動支援センター）

番号	事業名	目的	内容
1	生涯学習ボランティアセンターの運営	県民の生涯学習ボランティア活動及び青少年の体験活動ボランティア活動を促進・支援する。	1 ボランティアに関する情報収集・提供・相談・紹介・広報などによる支援・援助 2 活動の希望者・団体の登録 3 ボランティア団体・グループ間の交流 4 活動の場の開発 5 関係機関・団体との連携 6 一日出張相談窓口の開設

ウ 視聴覚ライブラリー

番号	事業名	内容	対象・方法等	備考
1	視聴覚教材・教具等の貸出	DVD・ビデオテープ・16ミリフィルム・プロジェクター・映写機等の貸出を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター
2	視聴覚教育に関する相談	視聴覚教材・教具の利用に当たっての各種相談を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター

エ 図書資料室

番号	事業名	目的	内容
1	図書資料室の運営	教育関係資料の整備・充実を図り、学習活動を支援する。	1 教育関係資料の整備・充実 2 レファレンス・貸出

オ カリキュラムセンター

番号	事業名	目的	内容
1	カリキュラムセンターの運営	各学校の自主的な教育活動や各教育機関を支援するためにカリキュラムに関する相談や情報提供を行う。	1 カリキュラムに関する情報の収集・整理 2 カリキュラムに関する情報の提供 3 カリキュラムに関する調査研究及び開発 4 要請による指導主事の派遣

(4) 調査研究事業

ア 趣旨

学校教育関係及び生涯学習関係各方面の要請や実情に基づき、学校教育の内容や方法等及び生涯学習の在り方や支援の方法等の改善充実を図るため、各種の調査研究を実施する。

イ 基本方針

- (ア) 教育行政上の基礎資料となる調査研究を行う。
- (イ) 当面する教育課題を的確に捉えて、指導に役立つ調査研究を行う。
- (ウ) 他の教育機関における調査研究活動との連携を図る。

ウ 事業内容

番号	研究主題	目的・内容	備考
1	「主体的・対話的で深い学び」に関する調査研究（小・中の各学校段階） ～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた実践事例等を示した冊子（実践編）を作成し、授業中の児童生徒の学びの姿やその姿に結び付く教師の手立て等を紹介することを通して、これからの時代に求められる児童生徒の資質・能力の育成に資する。	研究調査部 継続
2	高等学校における教科指導充実に関する調査研究 ～各教科における今日的課題解決を図る指導の工夫 【「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善】	高等学校の各教科の指導において今日的な課題の解決を図るための取組について研究する。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るための工夫を各教科共通のテーマとして、研究協議や授業実践を行う。研究成果を指導資料としてまとめ、各学校に配布するとともに研修等で活用することにより、確かな学力の育成及び教職員の資質・能力の向上に資する。	研究調査部 継続
3	学習指導案・教材の収集と発信 ～「教材研究のひろば」の充実	授業実践に役立つ学習指導案・教材を収集し、「教材研究のひろば」から Web 発信することで、県内の多くの教員がその学習指導案・教材を共有できるようにする。収集した学習指導案・教材を授業実践に生かしてもらうことで教員の授業力向上及び児童生徒の学力向上に資する。	研究調査部 継続
4	道徳科の授業に関する調査研究（小学校段階） ～「考え、議論する道徳」への転換に向けて	「特別の教科 道徳」（道徳科）となるに当たり、小学校における「考え、議論する道徳」の授業についての調査研究を行い、授業実践例をまとめた資料（冊子）を作成することで、教員の道徳科の指導力向上と各学校における道徳科の授業改善に資する。	研究調査部 新規
5	「プログラミング教育」に関する調査研究（小学校段階） ～小学校における「プログラミング教育」指導資料の作成	小学校の新学習指導要領に位置付けられた「プログラミング教育」の捉え方及び授業づくりについての調査研究を行い、指導資料を作成することにより、各学校の「プログラミング教育」の充実に資する。	研究調査部 新規
6	教育に関する各種統計調査 ～教育行政基礎資料の提供	本県及び国の教育に係る各種統計調査（県単 6、文部科学省 3 の計 9）を実施し、教育行政、教育施策に関する基礎資料を作成・配布する。 ○県単調査 ①中学校等卒業者の進路状況調査 ②県立高等学校等卒業者の進路状況調査 ③全日制高等学校生徒の他県との交流調査 ④公立学校教員構成調査 ⑤新年度児童・生徒数、学級数見込み調査 ⑥中学校等生徒の進路希望調査 ○文部科学省調査 ⑦地方教育費調査 （教育費調査・生涯学習関連費調査：H29 会計年度） ⑧子供の学習費調査 ⑨社会教育調査	研究調査部 継続

番号	研究主題	目的・内容	備考
7	生涯学習・社会教育に関する調査研究	生涯学習・社会教育関係方面の要請や実情に基づき必要な調査研究を行い、生涯学習・社会教育に係る課題等の明確化を図るとともに支援方法等の改善充実に努める。	生涯学習部 新規
8	児童生徒支援に関する指導資料の作成	教育相談の基礎に関する指導資料を作成し、各校における児童生徒支援の充実に資する。	教育相談部 継続
9	特別支援教育コーディネーターの役割に関する調査研究	児童生徒一人一人への支援を更に充実させるため、特別支援教育コーディネーターに求められる役割について調査研究を行い、指導資料にまとめることにより、各学校の特別支援教育の一層の充実に資する。	教育相談部 新規
10	幼児教育と小学校教育の接続	幼稚園教育要領等や小学校学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえて、幼児教育と小学校教育の望ましい接続の在り方について調査研究し、リーフレットを作成・配布することで、接続期の教育の充実に資する。	幼児教育部 新規

(5) 教育相談事業

ア 趣旨

幼児児童生徒の健全な育成に資するため、障害や教育上の問題などの悩みをもつ幼児児童生徒及び保護者等に対して、問題解決に向けた助言・援助を行う。

イ 事業内容

事業名	内容	対象・方法等
教育相談	〔来所相談〕 障害や教育上の問題などの悩みをもつ幼児児童生徒及び保護者等に対して、問題解決に向けた助言・援助を行う。	幼児児童生徒、保護者等
	〔学校支援〕 学校や教育研究会等からの要請に応じて、教育相談及び特別支援教育に関する研修会や事例研究会等に指導主事を派遣し、助言・援助を行う。	学校・教育研究会等

(6) 幼児教育推進事業

ア 趣旨

幼児教育行政の中核的な施設として、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・小学校・義務教育学校の連携と相互理解を図りながら、豊かな人間性や「生きる力」の基礎を培うとともに、幼児期から児童期への円滑な接続と幼児期にふさわしい教育環境を目指し、各種の事業を展開する。

イ 基本方針

(ア) 幼小連携の推進

幼小連携推進会議を核として、幼児教育の充実を図るとともに、各地域で整備された連携体制とその取組を支援し、幼小の円滑な接続を推進する。

(イ) 研修

幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・小学校・義務教育学校の教職員を対象とした合同研修〔幼小〕や幼小連携推進者養成研修をはじめとして、「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」等に基づく研修や今日的課題に対応した研修及び教職員等への支援を行い、教育・保育の充実を目指す。

(ウ) 情報の提供

情報誌やたより、ホームページにより、幼児教育や子育てに関する情報を提供したり、幼児教育関係者の会議等において、県における事業展開等を紹介したりするとともに、教材等を整備し、研修等で活用する。

(エ) 調査研究

幼児教育や家庭教育、幼小連携等に係る今日的課題についての調査研究を行い、その成果を広く発信・提供し、課題解決の一助とする。

ウ 事業内容

(一部再掲)

事業名	内 容	開催回数等	備 考
幼小連携の推進	1 幼小連携推進会議 2 幼小ジョイントプロジェクト 幼少の円滑な接続を目指し、教職員の相互理解を深め、教育・保育の質の向上を図るため、市町教育委員会と県教育委員会が一体となり、地域の実情に応じた連携を推進する。 3 幼小連携実施状況調査（隔年実施 H30年度実施なし）	2 回 1 市町 (5日)	
研修	1 研修の実施 (1) 合同研修〔幼小〕 (2) 幼小連携推進者養成研修 (3) トップセミナー (4) 幼児期の特別支援教育研修 (5) スキルアップセミナーⅠ〔幼児理解に基づく評価〕 (6) スキルアップセミナーⅡ〔要録の作成と活用〕 (7) スタートカリキュラム講座 (8) 教育課程研究集会〔幼児教育〕 (9) 新規採用幼稚園教諭等研修 (10) 幼稚園等教職5年目研修 (11) 中堅幼稚園教諭等資質向上研修 (12) 幼児教育特別講座Ⅰ (13) 幼児教育特別講座Ⅱ 2 教職員等に対する研修等 (1) 教育・保育アドバイザーの派遣 (2) 教育相談	1日 5日 1日 2日 1日 1日 1日 3日 9日 3日 6日 1日 1日	

事業名	内 容	開催回数等	備 考
情報の提供	(1) 幼児教育情報誌「おうち」の発行・配布 (2) 幼児教育センターだよりのメール配信 (3) ホームページによる情報の提供 (4) 国公立幼稚園等代表者会議の開催 (5) ビデオライブラリーの整備	2回 隔月1回程度 1日	貸出随時
調査研究	(1) 幼児教育調査研究委員会の開催 (2) 家庭における幼児教育等の実態調査	3回 2回	

(7) 資料・情報の収集提供事業

ア 資料・情報センターとしての機能の拡大

教育関係職員の教育活動及び研修や生涯学習に関する学習活動・学習相談及び研修を進める上に必要な資料・情報を提供するため、機能の拡大に努める。

イ 事業内容

事業名	内 容	対象・方法等	備 考
資料情報の収集・提供	1 教育・生涯学習関係図書及び教科書等の収集・整理・保管・提供 2 学校・教育研究所・教育研究団体・生涯学習関係団体等の各種研究成果の収集・整理・保管・提供 3 栃木県学習情報提供システム(とちぎレインボーネット)・栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム(とちぎかがやきネット)の活用 4 学習相談 5 ボランティア情報の収集・提供 6 視聴覚教材・教具の貸出 7 カリキュラムに関する情報の収集・整理・提供等 8 とちぎ学びの杜(センターホームページ)	幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校・生涯学習関係団体・生涯学習活動者・県内外関係機関並びに一般県民	
広報活動	総合教育センター広報紙、研究成果等の発行 1 要覧 2 所報 3 総合教育センター施設案内 4 生涯学習ボランティアセンター関係広報資料 5 とちぎ県民カレッジ関係広報資料 6 教育相談リーフレット 7 カリキュラムセンター広報リーフレット 8 とちぎ学びの杜(センターホームページ) 9 総合教育センターだより「学びの杜通信」のメール配信 10 総合教育センター重点事業紹介リーフレット 11 ツイッター	同 上	

(8) 研究・学習活動支援事業

ア 教育研究団体、生涯学習関係団体への支援協力

教育研究団体が当面している教育に関する諸問題の研究や生涯学習関係団体の学習活動について、その推進が図られるよう支援協力する。

イ 事業内容

事業名	内容	対象・方法等	備考
研究・学習活動援助	教育研究団体の自主的、組織的研究活動の推進、生涯学習関係団体の学習活動の推進、施設利用等に対して援助協力する。	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教育研究会・生涯学習関係団体	
視聴覚教材・教具等の貸出（再掲）	DVD・ビデオテープ・16ミリフィルム・プロジェクター・映写機等の貸出を行う。	学校・団体・関係機関 一般県民	窓口：学習情報センター
市町・学校・団体等への支援	市町支援活動	市町	生涯学習・社会教育関係職員研修と連携
	学校・団体等支援活動	学校 各種団体	
		栃木県視聴覚連盟事務局の運営。視聴覚教育促進のため、各視聴覚ライブラリーとの連絡・調整を行う。	栃木県視聴覚教育連盟
	生涯学習ボランティアの活動を支援する。	生涯学習部所管研修修了者有志（センターボランティアの会、栃木県メディアボランティア）等	生涯学習ボランティアの活動支援 ・生涯学習関係事業の支援活動 ・ボランティア学習会 ・自主企画講座の開催

(9) 教育充実振興事業

ア 教育研究活動及び生涯学習の振興

教職員の資質の向上、児童生徒の研究意欲の高揚及び生涯学習の振興に資するため、各種の事業を実施する。

イ 事業内容

(ア) 講座

事業名	内 容	対象・方法等	備 考
ライフアップセミナー (再掲)	総合教育センター研修の中から、県民の学習活動として活用できる部分を広く一般に公開し、幅広い学習機会を提供する。 平成30年5月～平成31年2月	一般県民	
教育相談特別講座	悩みや不安、課題を抱える子どもへの教師のかかわりについて、子ども自身も「自分はこうありたい」というイメージを大切にするという視点から考える機会を提供する。 実施期日 平成30年8月7日(火)	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員及び教育関係者	

(イ) 展覧会・発表会・コンクール等

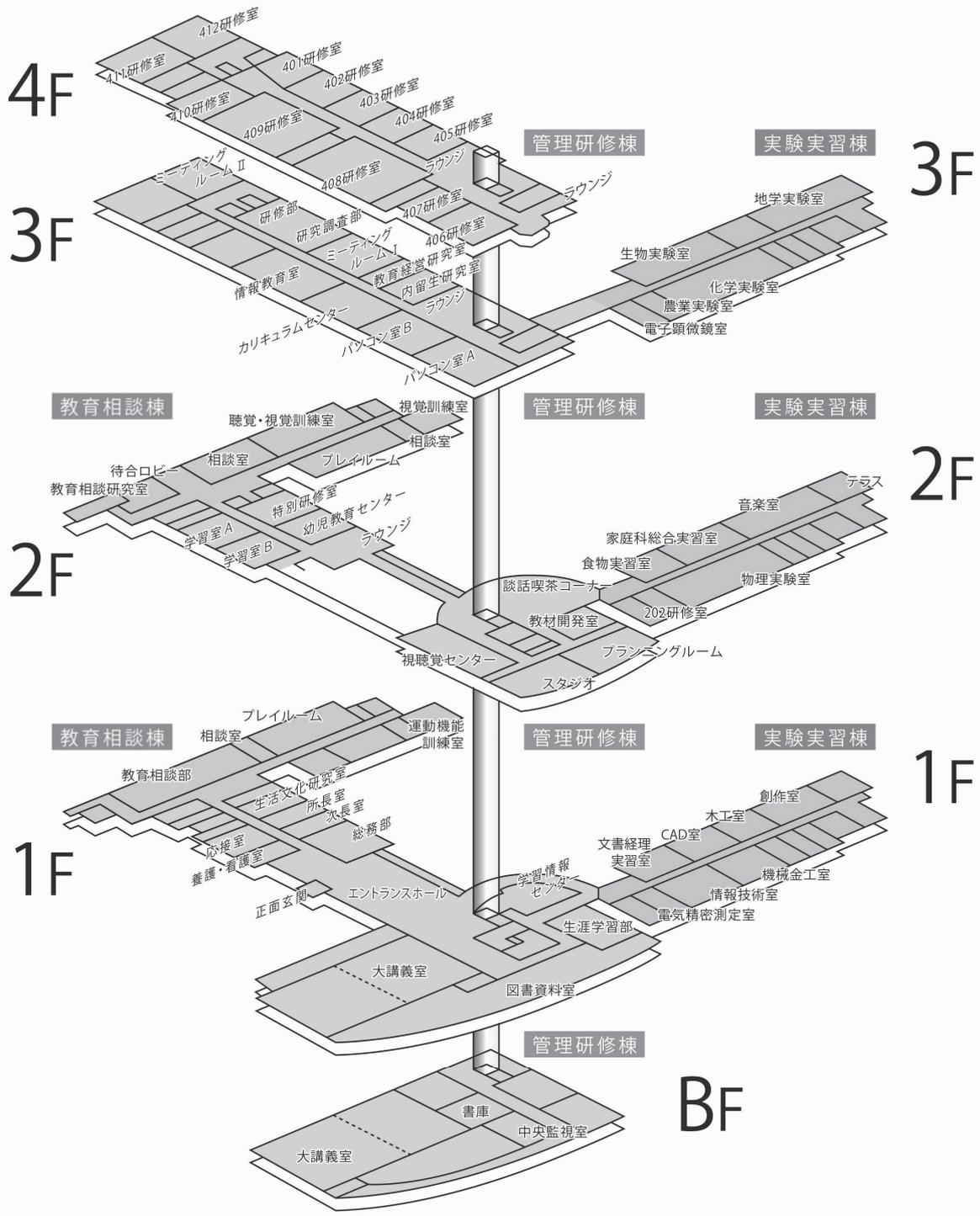
事業名	内 容	対象・方法等	備 考
第62回日本学生科学賞 栃木県展覧会	中・高生の科学的探究心の高揚を図るため、理科研究作品の展覧会を開催する。	中学校・義務教育学校(後期課程)・中等教育学校・高等学校・高等専門学校(第3学年まで)・特別支援学校(中学部・高等部)の生徒	
第68回栃木県児童生徒 発明工夫展覧会	創作の喜びや発明工夫の楽しさを味わうことを通して、児童生徒の豊かな観察力と創造力を育成する目的で、作品を募集し、展覧会を行う。	小学校・中学校・義務教育学校・中等教育学校・高等学校・高等専門学校(第3学年まで)・特別支援学校の児童生徒	
第72回栃木県理科研究 展覧会並びに発表会	児童生徒の科学する心を育成し、本県理科教育の振興を図るため、児童生徒の理科研究作品の展覧会と発表会を開催する。	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校及び特別支援学校等の児童生徒	
第31回栃木県自作視聴 覚教材コンクール (再掲)	視聴覚教育に関わる自作教材の制作を奨励し視聴覚教育の振興を図るため、自作視聴覚教材コンクールを開催する。 平成31年1月中旬 応募締切 2月上旬 審査、2月下旬 表彰	映像作品の制作を職業としない個人及びグループ等	
平成30年度栃木県教育 研究発表大会	県内各教育機関における幼児教育・学校教育及び生涯学習に関する実践研究の成果を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実・向上と生涯学習の振興に資する。 実施期日 平成31年1月25日(金) 平成31年1月26日(土)	幼稚園・保育所等の教職員、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職員、生涯学習関係者、大学生等、一般県民	
平成30年度総合教育 センター開放事業 「学びの杜の冬休み～ ふれる・つくる・考え る～」 (再掲)	総合教育センターの人的・物的資源を活用し、子どもたちをはじめとするさまざまな年代に向けて学びの機会を提供する。 「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした「体験活動」の実施 実施期日 平成30年12月15日(土)	幼児～高校生を中心とする子ども・保護者等	

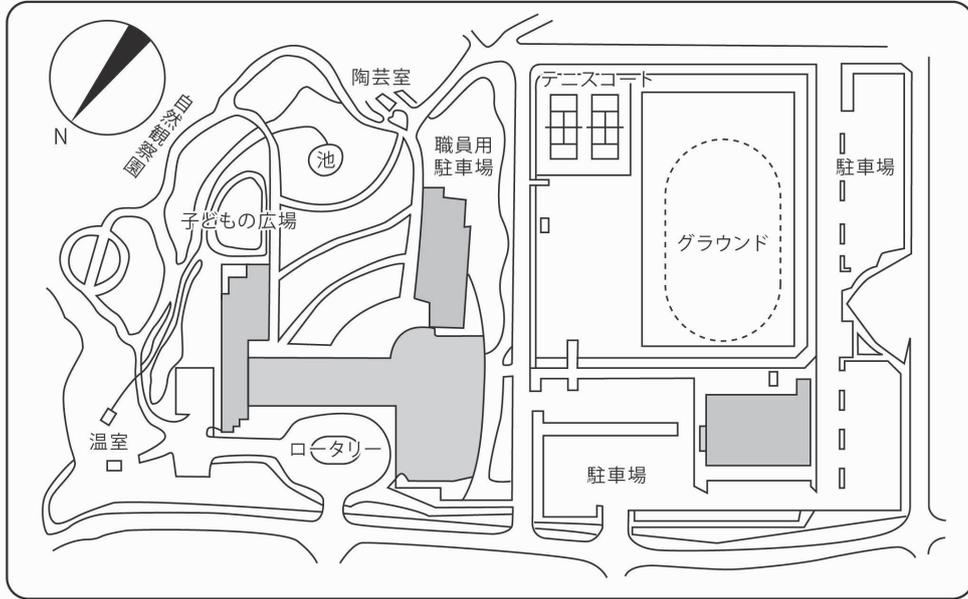
4 職員等一覽

平成30年4月1日現在

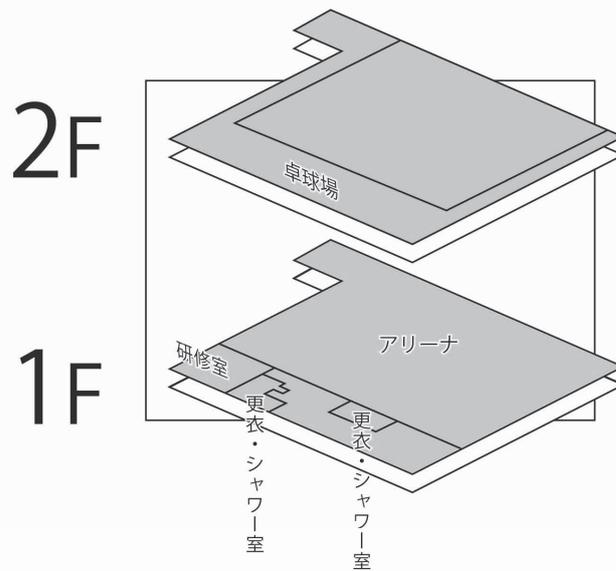
部	職名	氏名	部	職名	氏名
	所長	大森亮一		部長	梅澤圭子
	次長	伊藤満		部長補佐	三澤雅子
総務部	部長(兼)	伊藤満	研究調査部	副主幹	岩瀬英二郎
	部長補佐(総括)	人見和博		〃	入野伸行
	主幹(企画調整担当)	植木淳		〃	中條康雄
	副主幹(〃)	大高裕一		指導主事	五月女穰
	〃	水井ゆかり		〃	浦田英亮
	係長	三澤智子		〃	興野寛久
	主査	木舟克己		〃	山田裕功
	主任	大島佳央莉		〃	高橋徹
	主事	小滝啓輔		〃	大山晃
	主任技能技術員	腰塚政美		〃	糺谷隆雄
臨時補助員	谷田貝理沙	〃	福田俊彦		
生涯学習部	部長	高野嘉子	教育相談部	係長	三津間裕治
	副主幹	和田淳子		主任	佐藤真衣
	〃	尾島敏裕		臨時補助員	田崎清二
	〃	伊東宏隆		部長	松本美智代
	〃	永島寿一		部長補佐	小島圭子
	社会教育主事	築真也		副主幹	佐山功
	〃	手塚博子		〃	見目正恵
	〃	小柳真一		指導主事	細井三知代
	教育研修研究調査員	田辺美子		〃	田上岳
	〃	石川幸夫		〃	落合睦美
生涯学習相談員	湯浅都志昭	〃	人首健一		
〃	高橋哲也	〃	絵面悦子		
研修部	部長	水沼隆	幼児教育部	〃	飯村伸子
	部長補佐	柳田昌臣		教育研修研究調査員	五月女勉
	副主幹	山口和彦		部長	新村幸江
	〃	小川賢一		部長補佐	吉河昭光
	〃	庄司由夏		副主幹	前原由紀
	指導主事	山口昌子		指導主事	黒川貴広
	〃	塩野友佳		〃	高根沢伸友
	〃	福井智之		幼児教育センター顧問	神長美津子
	〃	渡邊久子		幼児教育専門員	鈴木明子
	〃	小野勝		〃	栗田英子
	〃	宇賀神安代		教育研修専門員	中村仲
	〃	板橋美季		〃	大塚千枝子
	〃	佐山新太郎		〃	柴田功
	〃	前田憲政		〃	萩原伸二
	〃	星義夫		〃	阿見勉
〃	谷仲俊彦	〃	平栗勝		
〃	日下田圭祐	〃	高橋正彦		
			派遣(文部科学省)	白井淳子	

栃木県総合教育センター配置図





体育館



施設の概要

◆敷地面積 57, 586 m² (管理研修棟側 31,828 m² グラウンド側 25,758 m²)

◆建物の概要

- ・管理研修棟 延べ床面積／14,046.9 m²
 - 内訳 管理研修棟 9,218.65 m² (地下1階地上4階建)
 - 実験研修棟 2,810.90 m² (地上3階建)
 - 教育相談棟 2,017.35 m² (地上2階建)
- ・体育館 延べ床面積／1,539.25 m²
- ・陶芸室・温室 延べ床面積／61.29 m²
- ・浄化槽機械室 延べ床面積／29.12 m²

栃木県総合教育センター案内

◆所在地 〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町 1070 番地

◆電話案内 市外局番 028

総務部	TEL 665-7200	FAX 7217	生涯学習部	TEL 665-7206	FAX 7219
研修部	TEL 665-7202	FAX 7218	学習情報センター	TEL 665-7207	FAX 7219
研究調査部	TEL 665-7204	FAX 7303	生涯学習ボランティアセンター	TEL 665-7207	FAX 7219
教育相談部	TEL 665-7210	FAX 7212	情報教育室	TEL 665-7208	
	TEL 665-7211		カリキュラムセンター	TEL 665-7204	FAX 7303
幼児教育部	TEL 665-7215	FAX 7216	教育経営研究室	TEL 665-7209	
(幼児教育センター)					

◆ホームページ案内

栃木県総合教育センターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

とちぎレインボーネット (栃木県学習情報提供システム)

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/information/>

幼児教育センターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

カリキュラムセンターホームページ

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/curriculum/rss/index.php5>

◆利用案内 (利用できる日)

教育相談……………月～金曜日

貸出施設……………毎日

学習情報センター、生涯学習ボランティアセンター、図書資料室……毎日

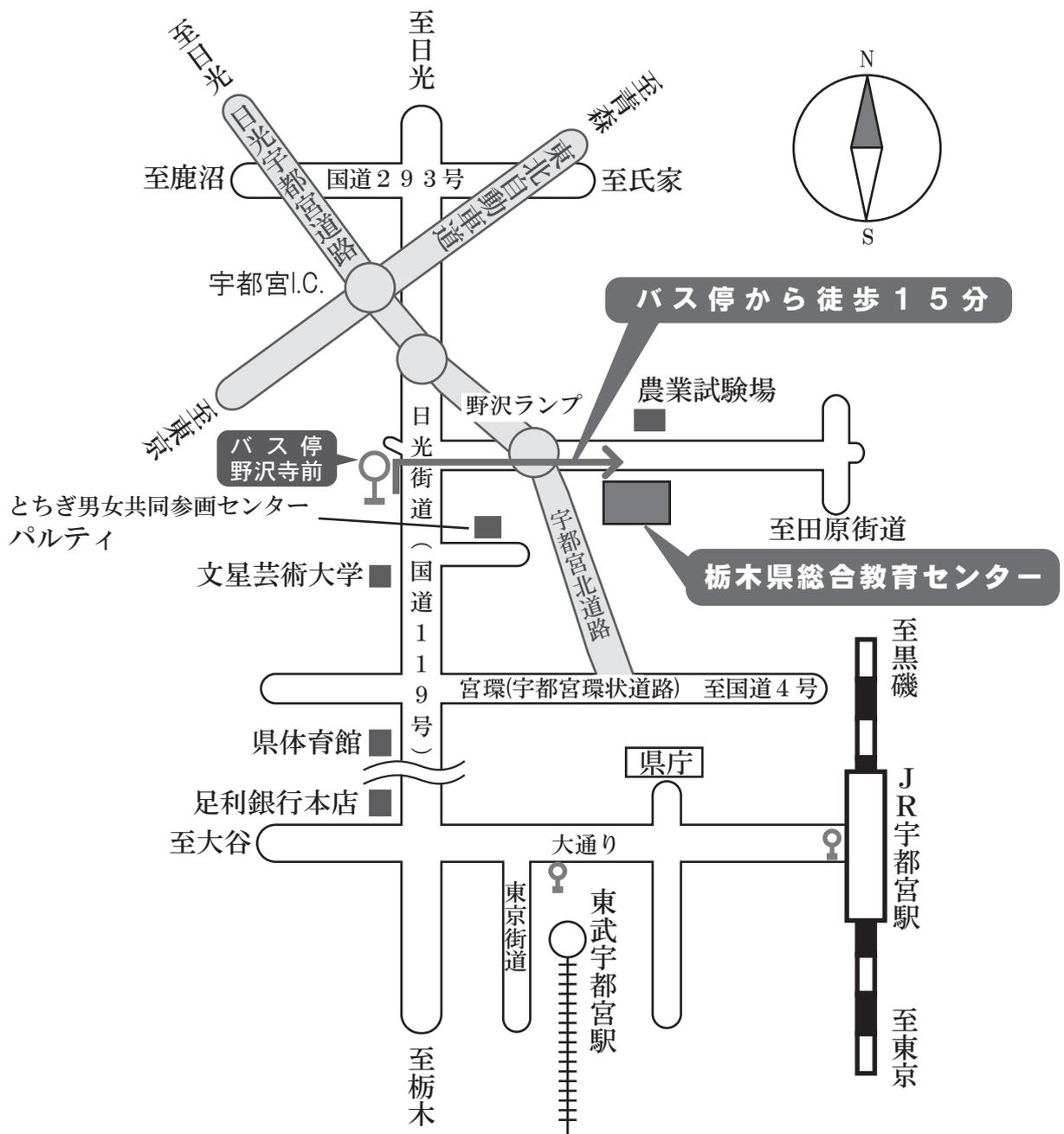
カリキュラムセンター……………月～金曜日 (来所相談及び土曜日、日曜日の利用は予約が必要)

※利用できない日 (施設の管理運営上変更になる場合もあります。)

第3日曜日 (学習情報センター、生涯学習ボランティアセンター及び
図書資料室は第1・3日曜日)

国民の祝日、年末・年始 (12月28日～1月4日)

◆交通案内



アクセス

◆関東バス利用

- ・JR宇都宮駅西口（8番のりば）約10km
バス乗車時間 約30分 + 徒歩 約15分
- ・東武宇都宮駅
（大通り沿いバス停：東武駅前） 約9km
バス乗車時間 約25分 + 徒歩 約15分

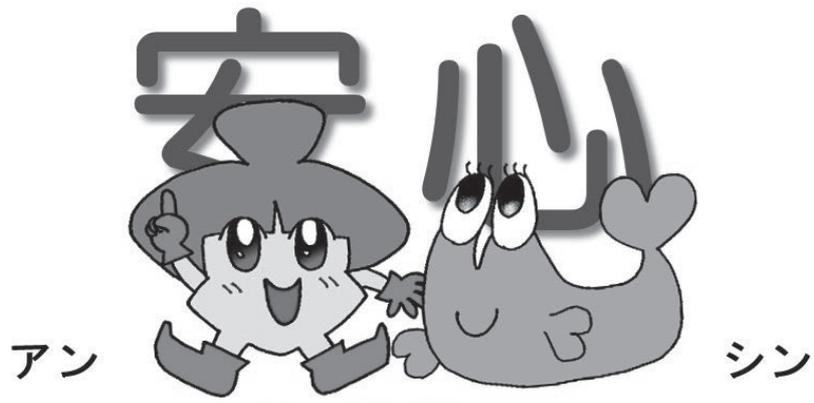
系統：56今市・日光東照宮行、58船生行、52山王団地行、52石那田行
↓
野沢寺前下車 徒歩 約15分

◆タクシー利用

- ・JR宇都宮駅西口から 約10Km 25分
- ・東武宇都宮駅から 約9Km 20分

◆東北自動車道利用

- ・宇都宮I.C.から車で5分
（宇都宮北道路野沢ランプを下りてすぐ）



栃木県総合教育センター